

事業・同好会活動実施報告書

開催日・時間	令和7年3月27日 午前10時～正午
開催場所	平和大通り（白神社から駅前大通りまで）
参加人員	14人、うち家族会員2人、新会員1人
活動状況	<p>天気がお昼までもってくれればと願いながら白神社に集合です。</p> <p>今日は、まず木楽会の代表をバトンタッチするお話しがあった後、現代表から、原爆が落とされる前の平和大通りはたくさん家屋があった街だったんですよ、空襲に備えた防火帯を作る為に家々は壊されて、そしてできたのがこの平和大通りなんです。</p> <p>招集されて作業にあたっていた学生さんたちが原爆の犠牲になられたんですよと皆さん静かにうなずきます。</p> <p>次期代表から、鯉城通りは広島城を作る資材を運搬するために掘られた西堂川という運河だったんですよと古地図を使つての説明、いまは埋め立てられて電車が走っています、勉強になります。</p> <p>さあ、先ず白神社へ、春がきましたよ、昨日開花宣言があったばかりなのに白神社のさくらがもう5分咲きです、そばに小さなアセビの花が房になって垂れ下がっています、可愛い花ですね、</p> <p>白神社の（白神）のいわれは昔、近くを行き来する船が座礁しないようにと白い紙を立てて知らせ、船の安全を守ったんですよ、と会員の声、ええ、そうなんですか、あ、本当だ、ここの説明書きにも書いてありますね。</p> <p>そばにある旧国泰寺愛宕池には クロガネモチの根っこが、石柱を抱き込んでいます、すごいですね、まるで巨大タコが獲物を捕まえたようです、また隣には（被爆樹木ムクノキ、最後の一本）との説明が、もう80年ですからね、これからも長く生き延びてほしいですね。</p> <p>見てごらんなさいこのムクノキ説明板の取り付け紐はスプリングになっています、これ、幹が成長しても紐を食い込まないようにするためですよと会員から、ほんとうですね、と皆さん感心しきりです。</p> <p>大通りを南側にわたった所に3m位に伸びたベニバナトチノキが4,5本植樹してあります、別名マロニエですね、5月頃になるときれいな房になったピンクの花を愛でることができるのですが今は冬芽の状態ですね。</p> <p>すこし歩いて行くと 樹皮がところどころ剥げ落ちていた木が、これはケヤキです、樹形を見上げてごらんなさい、細い枝先が空に向かって伸びています、ということで この漢字は 木へんに挙げるで{櫟}と書くんですね、束ねればおおきな竹ぼうきに似てきそうです。</p> <p>またケヤキは材が固いので大黒柱に使われることが多いとの説明が誰かから、勉強になりますね。</p> <p>少し行くと組み合わせた両手をモチーフにした記念碑が、これは広島市医師会原爆殉職碑ですね、広島市には原爆慰霊碑があちらこちらにあります、毎年広島市立の各公民館が（原爆慰霊碑めぐり）を行っていますね、7月の公民館便りを見て参加してみましょう。</p> <p>あ、これ合格祈願の葉っぱじゃないですか、との声、冬になってもその枯れ葉がたくさん枝に付いたままです、残念、これはクヌギですね、合格祈願の葉っぱは何て名前でしたっけ？ それはヤマコウバシです、受験シーズン前に神社等でラミネートされたヤマコウバシの葉っぱがいただけたりしますね。</p> <p>背のたかい日本原産のトチノキのある石の庭園にやって来ました、このトチノキは5月頃白い花が咲きます、いただいた資料にピンクのベニバナトチノキと白いトチノキの花の写真がありますね。</p> <p>ここには大きなツバキの花がたくさん咲いています、皆さん、すごくきれい！こんなののはじめてみましたよ、という声も、と感嘆の声をあげます、本当にちょうど真っ盛りでしたね。</p> <p>白神社から駅前通りまで、今回も皆さん元気に楽しく雨が降り始める前に散策を終えました。</p>